



平成26年3月20日

『IT食農先導士養成プログラム』
および
『最先端植物工場マネージャー育成プログラム』
の修了式を行います。

先端農業・バイオリサーチセンターで実施する「IT食農先導士養成プログラム」と「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」の修了式を下記のとおり行います。

平成24年度から開始した「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」は、**今回初めての修了式**となり、1期生10名に『植物工場管理経営士』と『IT食農先導士』の2つの称号が授与されます。

また、平成20年度から開始した「IT食農先導士養成プログラム」は今年度で終了となり、今回修了の5期生16名と「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」1期生を含めて、**6年間で125名の『IT食農先導士』を養成**しました。

これらの修了生は、今後『IT農業ネットワーク』を形成し、本地域における農業分野の活性化に貢献していきます。

記

日 時：平成26年3月25日（火）13：30～14：30

場 所：豊橋技術科学大学 A2-101講義室

- 内 容：1. 開式の辞
2. 「IT食農先導士」「植物工場管理経営士」称号授与
3. 理事・副学長式辞
4. 『優秀成績賞』授与
5. 修了生答辞
6. 閉式の辞

【本件に関する連絡先】

先端農業・バイオリサーチセンター 事業推進室 TEL：0532-44-6655
広報担当：総務課広報係 高柳・小島・荒井 TEL：0532-44-6506

IT食農先導士養成プログラム（東三河IT食農先導士養成拠点の形成）

最先端植物工場マネージャー育成プログラム（最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施）

平成20～24年度 文部科学省科学技術振興調整費（平成23年度からは科学技術戦略推進費）地域再生人材創出拠点の形成「東三河IT食農先導士養成拠点の形成」事業において、生産環境に左右されやすい農業に、豊橋技術科学大学の培った先端的技術科学の情報と工学技術を体系的に導入し、IT生産管理・IT経営管理ができる人材『IT食農先導士』の養成を行い、平成24年度までに100人の『IT食農先導士』が誕生しました。

当初、4期生までの養成としていましたが、継続を期待する声が多く、平成24年10月に5期生を募集、11月から教室講義「先端基礎農学コース」、平成25年4月からe-learning「IT生産管理コース」「IT経営管理コース」を開講、12月から最先端生産施設での実習「IT実務訓練コース」を経て、この度16名が所定の課程を修了しました。

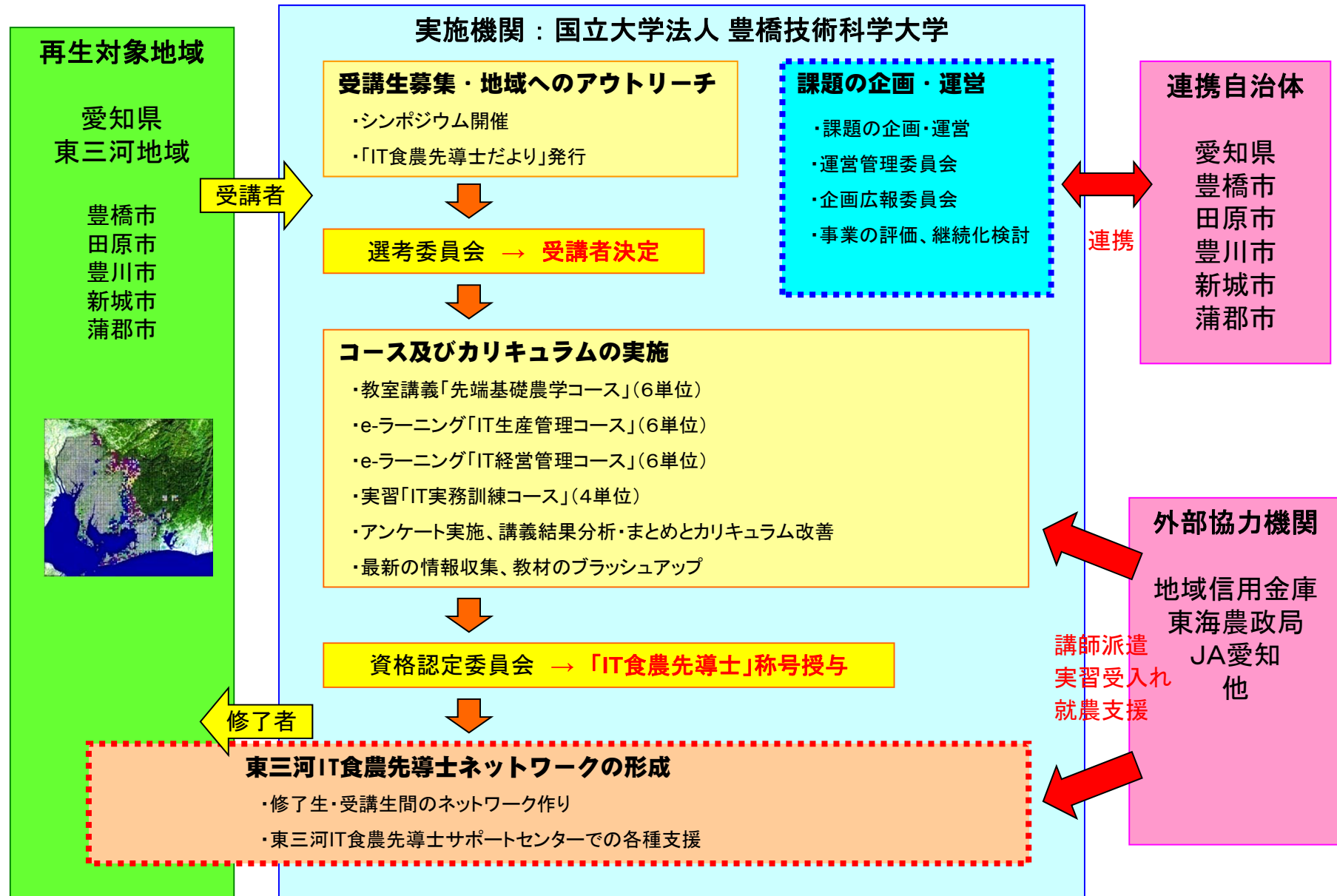
また、「東三河IT食農先導士養成拠点の形成」事業の後継として、平成24年度から文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション「最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施」事業を開始、豊橋技術科学大学等がこれまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、IT技術を農業に導入するための新たな植物工場の技術について講義、実習を行い、次世代の農業である植物工場の管理運営ができる人材『最先端植物工場マネージャー』の育成を行っており、今回初めて修了生を輩出することになりました。

平成24年10月に1期生を募集、11月から教室講義「先端基礎農学特論」、平成25年4月からe-learning「植物工場特論」「光合成環境工学特論」「植物工場経営管理特論」を開講、8月には「海外研修」、そして受講期間中、個別にテーマを決めて「課題研究」に取り組み、この度10名が所定の課程を修了しました。最先端植物工場マネージャー育成プログラムはIT食農先導士養成プログラムの教材を活用し、さらに発展させたものであるため、修了時には『植物工場管理経営士』と『IT食農先導士』の2つの称号を授与します。

これらプログラムの修了生は、先端農業・バイオリサーチセンターが実施する他の人材養成事業の修了生・受講生とともに『IT農業ネットワーク』を形成し、大学に設置している『IT農業サポートセンター』が、受講修了後も最新の農業情報提供を始め、様々な支援をしています。修了生主体のシンポジウム・アグリフェアも毎年企画されており、ネットワークは年々強固なものとなっています。

これら事業については、豊橋技術科学大学と愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、地域信用金庫等が協力連携して実施しています。

地域再生人材創出拠点の形成 『東三河IT食農先導士養成拠点の形成』



最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施

無料

事業目的

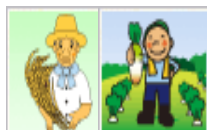
浜松・東三河地域は我国で最も農業が盛んな地域であり、とりわけ東三河地域は施設園芸発祥の地であり110年余の歴史を持つが、本地域の農業生産額は、平成7年度の1650億円を頂点に現在では100億円程度低減している。本プロジェクトでは最新の光、電子技術を基盤とした最先端施設園芸としての植物工場を管理運営できる人材を養成する。これにより、本地域を環境に左右されない定時、定量、定質でかつ安定な新農業を可能とする植物工場の研究開発拠点化し、東三河地域、ひいては我国農業の活性化を図る。

目指す人材像

システマティックな工学的思考と技術、日々変化する生産現場の状況にファジーに対応できる農学的思考と技術を併せ持ち、植物工場の管理、運営に必要な広範な基礎知識を習得し、安全で高品質、高収量生産と安定した植物工場経営ができる人材を養成する。

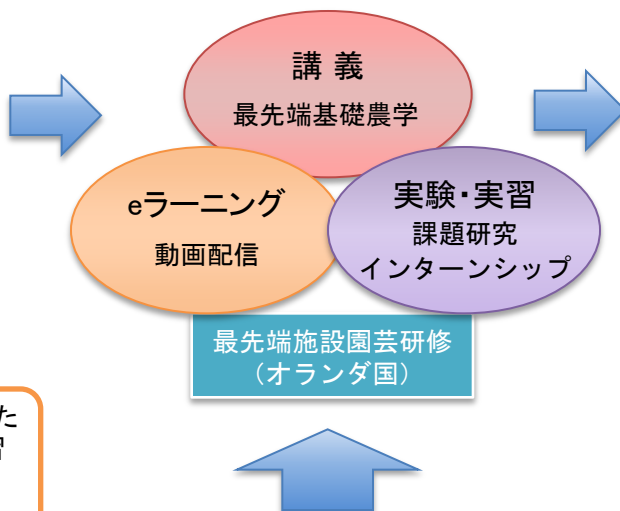
修業年限：二年
一期：10名
(計4期40名)

応募資格：高等学校卒業程度の学歴を有し、eラーニングを受講可能な人



農業者
農業生産法人
企業など

教育プログラム



植物工場マネージャー

〔植物工場管理経営士
IT農食先導士〕の称号授与



太陽光型植物工場

生産現場の栽培管理、品質管理、GAP、統合環境制御を体得する



人工光型植物工場

植物診断、光合成環境、養液診断、複合制御管理を習得し、品質、衛生管理を実習する



コンソーシアム

- 豊橋技術科学大学
先端農業・バイオリサーチセンター
(名古屋大学、千葉大学、東海大学、東京農工大学などに講師依頼)
- 民間企業
(株)サイエンスクリエイト、イシグロ農材(株)、大仙(株)、トヨハシ種苗(株)など
- 自治体
愛知県、浜松市、豊橋市などの地域自治体

協力機関

- 団体
JA、地域5信用金庫、植物工場開発・普及研究会、(株)とよはしTLO
- 海外
イシグロ農材(株)オランダ支店、ワーゲニンゲン大学

【問い合わせ先】

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108
http://www.recab.tut.ac.jp Email: manager@recab.tut.ac.jp